

独立行政法人 国際協力機構（JICA）様より 「ベトナム・ハロン湾の水質改善事業」を受注しました

 株式会社 環境総合テクノス
THE GENERAL ENVIRONMENTAL TECHNOS CO.,LTD.



海の桂林と称されるハロン湾（世界遺産）



カットバ島の市民、観光客で賑わう市場



カットバ湾の水上家屋での水質調査



事業開始式で事業計画を説明

海外の外販拡大を積極的に推進する営業部海外事業グループは、開発途上国でニーズの高い水質改善事業で、環境部と協力して2件目を受注しました。対象はベトナム北部で世界遺産になっている景勝地ハロン湾に浮かぶ大きな島カットバで、(独法)国際協力機構（JICA）の草の根技術協力事業に応募し、採択されたものです。本事業には弊社と滋賀県庁（商工観光労働部）、(株)日吉の3者が共同し、前田泰昭氏（大阪府立大学・特認教授）の協力を得て提案したものです。現地パートナーは、カットバ島を管轄するハイフォン市人民委員会やベトナム国家大学などです。

ハイフォン市人民委員会の要請を受けて、汚染が深刻化するハロン湾の水質改善協力について、昨年3月から現地の研究機関も入れて共同セミナーや水質測定を積み重ねて実績をつくり、採択に至りました。弊社は、本事業の窓口として事業を主導するとともに、環境教育分野で住民の意識改革を促す役割を担います。滋賀県庁は琵琶湖の水質改善運動を踏まえて行政側の人材育成を、(株)日吉は現地事業者の水質測定能力向上を担います。

本事業は平成29年3月まで2年間続きます。